

すずき 鈴木 エドワード 建築家

1947(昭和 22)年～2019(令和元)年

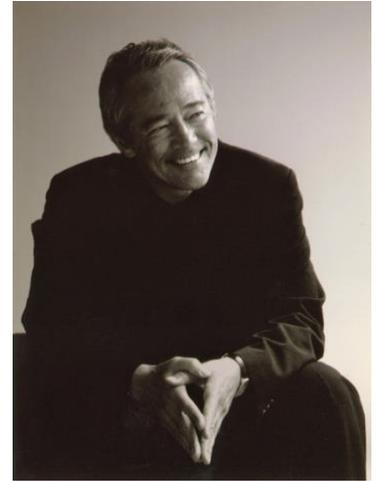
1. 経歴・狭山市とのかかわり

狭山市入間川に生まれる。1971年米国ノートルダム大学卒業(建築学士)後、1974年バックミンスター・フラー&サダオ・イサム・ノグチスタジオに在籍。1975年ハーバード大学大学院修了(アーバンデザイン建築学修士)。授業半分をマサチューセッツ工科大学で受ける。1975年丹下健三都市建築設計事務所在籍後、1977年鈴木エドワード建築設計事務所設立。2019年9月15日71歳で急逝。

狭山市立入間川小学校2年生で新宿区に転居するまでの幼少期を自然豊かな狭山の稲荷山公園で過ごした。終戦後、米車のディーラーであった両親と訪問した都内の高級住宅街との出会いが建築家への道に繋がったと語っている。

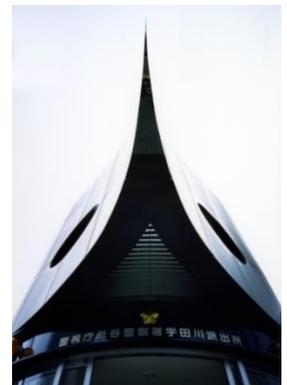
ふるさと狭山を愛し、仕事の合間を縫って「狭山大茶会」、お花見、「入間川七夕まつり」などにも夫人を伴って度々訪れた。エコスクールの新生入間川小学校建設の際にも関わりがあったと語っていた。

代表作である「JRさいたま新都心駅舎」は通産省グッドデザイン賞他、彩の国さいたま景観賞、第9回ブルネル賞推薦賞など国内外で様々な賞を獲得した。常識を超えたデザインは正に圧巻である。今でもさいたま市の小学生が見学に訪れ、有機体のように流線的な駅舎に対し多くの興味と質問が寄せられている。鈴木のと風と空気のデザイン哲学が子ども達にも伝えられ、地域に愛される駅の建築家として鈴木は今なお生きている。



2. 業績 — 代表的な作品 —

- ・ 警視庁渋谷警察署宇田川派出所(東京都渋谷区 1985)
- ・ 上野松坂屋(東京都台東区 1985) ☆第10回軽金属協会建築賞・商空間デザイン賞
- ・ JR東日本 赤湯駅舎(山形県南陽市 1993) ☆通産省グッドデザイン賞他多数
- ・ JR東日本 さいたま新都心駅(さいたま市 2000) ☆通産省グッドデザイン賞他多数
- ・ 東関東自動車道酒々井PA(上下線) 休憩施設・売店(千葉県印旛郡酒々井町 2002)
- ・ JR東日本 東京駅構内 銀の鈴待合い広場(東京都千代田区 2002)
- ・ EDDI'S HOUSE(ダイワハウスと共同開発 2003) ☆通産省グッドデザイン賞他多数
- ・ ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン(軽井沢町 2013-14) ☆受賞多数
- ・ 2017年第31回世界天才会議「特別天才賞」受賞



警視庁宇田川派出所



JR東日本 さいたま新都心駅

3. 特筆

鈴木は、原子構造のモデルを発表するなど物理学にも貢献した。宇宙や生命から学ぶ生き方を探求し続け、『GOoD DESIGN 神のデザイン哲学』を上梓した。近年は大学などで講演を行うなど広く活動する一方、亡くなる2019年はこれまでの実績に対して特に多くの受賞や称賛の声が届いたという。いつも笑顔で誰にも優しく、設計ではあたたかく気持ちのいい空間づくりを実践した。自然と人を愛し、小さきもの、隣人を愛おしむ姿勢に基づいたデザインこそ鈴木の本骨頂である。

多くの著名人との交友、CM出演など多数。トライアスロン、バスケットボール、墨絵など趣味も本格的で多才であった。

(参考資料)・『GOoD DESIGN 神のデザイン哲学』(小学館 2013・2017)・鈴木エドワード建築設計事務所HP(含写真提供)

(インタビュー) 鈴木百合子氏・JR東日本さいたま新都心駅長・鈴木エドワード建築設計事務所代表難波寿治氏